

平成28年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

平成28年度 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 事業計画

1 基本方針

平成28年度は、公益財団法人移行後6年目を迎えるとともに、26年度から5年間の指定管理期間の3年目の年となります。

区の厳しい財政状況を受けて平成24年度から実施されてきた3年間の緊急財政対策期間は終了しましたが、各事業の区補助金について以前の水準の復活は困難な状況が続いています。

また、今年度には「目黒区区有施設見直し方針」に基づく区有施設見直しの具体的な検討も進められることとなります。

当財団に係る影響は大変厳しい状況ではありますが、限られた財源や人材の中で、引き続き区民・利用者の皆様本位の運営を心掛けながら、区からの補助金や指定管理料収入を基礎としつつ、利用料金収入、他団体助成金、賛助金などの自主財源も活用して、質の高い事業活動の維持に努めてまいります。

さらに、新たな芸術文化振興プランに示された区の芸術文化振興施策の一翼を担う団体として、また指定管理者として、区と締結した協定書を踏まえながら、その拠点である文化ホール及び美術館に課せられた使命を果たすべく、「文化縁」の形成・醸成による「目黒のまちの魅力づくり」のため、積極的に取り組んでまいります。

その中で、引き続き公益財団法人としての「収支相償の原則」を踏まえつつ、より一層職員の創意工夫によって、施設の利用率や入場者数等の向上を図り財源の確保に取り組むとともに、サービスの向上と効率的かつ効果的な事業運営を行うよう努めてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

今年度も区の事業費補助がないため、大きな鑑賞事業を財団主催で実施することは難しい状況ですが、区民に優れた芸術文化に接する機会を提供するため、財団の自主財源を活用して主催事業を実施していきます。その中で、引き続き区美術館の展覧会に合わせた連携コンサートを実施することとします。

また、事業費をかけない形態での共催事業についても、利用料金収入とのバランスに留意しながら実施していきます。

なお、鑑賞事業は、主催・共催ともに各年代層の要望に沿っていることや、

公演のジャンルが偏らないことなどに留意しながら事業計画を立てて実施します。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

今年度も豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、従来通り貸館利用及び広報等の支援をしていきます。

また、区補助金を充当して今年度で5年目となる「避難訓練コンサート」を行います。今回は、これまでのような地震を想定したものではなく、公演中の不審物発見を想定した避難訓練を実施します。

(3) 学習・練習事業

区補助金を充当しながら、引き続き次代を担う子どもたちの育成事業等に積極的に取り組みます。

その中で、小中学校を対象とした「アウトリーチプログラム」は、例年と同様の開催を維持するとともに、学校以外では、一昨年から実施している東京医療センターや27年度初めて実施した区立特別養護老人ホーム3施設で引き続きコンサートを実施します。

また、ワークショップ事業では、例年どおり中高生を中心とした「パレットプログラム」を実施していきます。

(4) 受託事業

今年度で51回目を迎える「目黒区文化祭」では、目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ様々な芸術文化団体の活動支援に取り組みます。

また、「めぐろオータムアート」については、引き続き区美術館と連携を図り、音楽と美術を合わせたプログラムを実施します。

(5) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様に利用いただいている貸館事業については、引き続き常に公平・公正及び安心・安全に留意しながら、施設の貸出しや設備の保守管理に努めていきます。

また、情報コーナーや受付窓口等には、各種チラシ等を配備して公演等の情報提供を行っていきます。

2 運営方針

(1) 鑑賞事業等の主催・共催事業の実施にあたっては、厳しい財政状況を踏まえて広報・広告等の活用を図るとともに、27年度から始めたツイッターやフェイスブックなど新たな手法も活用しながら、集客率を上げるための創意工夫に努めていきます。

また、賛助会員の拡大に努めるとともに、他団体の助成金、企業からの協賛金、広告料の獲得などを積極的に推進して収入の確保に努め、収支のバランスを図った運営に取り組んでいきます。

(2) 児童・生徒を対象にした「アウトリーチプログラム」や「パレットプログラム」については、教育委員会や学校等と連携を図り、芸術性の高い音楽等を通じて子どもたちの豊かな感性を育む事業の充実に努めていきます。

また、病院や特別養護老人ホームでの「アウトリーチプログラム」については、区や関係する施設との連携を密にしながら実施し、音楽を通して癒しや楽しさが感じられるように取り組んでいきます。

なお、学校等に派遣するアーティストについては、ホールでコンサートを実施した演奏家等に依頼するなど、文化ホール活動との一体的な運営に努めます。

(3) 目黒区文化祭やめぐろオータムアートについては、区や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めます。

(4) ホールの利用枠については、これまでの文化ホールにおける一般利用の実績や収益性、利用料金制を踏まえ、行政利用と財団利用を合わせて概ね大ホールが25%、小ホールが15%程度にとどめて運営していきます。また、ホール利用率の向上のため、周知方法等の工夫策を検討していきます。

(5) 指定管理事業については、基本協定書及び年度協定書に沿って着実に履行するとともに、指定管理者評価結果を真摯に受け止め、サービス向上の一層の改善に努めます。

なお、今年度も区の指定管理事業費に鑑賞事業実施の予算は計上されておりませんが、自主財源を活用して、区にゆかりのあるアーティストによるクラシックコンサートの実施を検討します。

(6) その他、事務経費全般については、これまで以上に節減し、適切な管理運営に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

展覧会事業については、区民が親しみを感じる展覧会や当館ならではの特色のある展覧会などを自主企画展として3展、指定管理事業である所蔵作品展、めぐろの子どもたち展と合わせて5展を開催します。年間の開館日数は、区展を含めて200日以上を維持し、5展の年間入館者数4万7千人を目指します。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る、創る、考える」などの活動や交流を通じて感性を育む事業として例年行っている夏、春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリートゥアー、講演会等を実施します。これらの教育普及事業の開催にあたっては、当財団内の連携・協力、区及び教育委員会、学校等との連携を図ります。

(3) 調査研究

美術館の基本的な事業の一つとして、地域の文化資源等の学芸研究のほか、個々の学芸員の専門性を生かしながら、今後の美術館事業を見据えた調査研究を引き続き行います。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街等との協力関係の構築に努めるとともに、芸術文化活動の推進にあたって区や他団体等との連携を図ります。

(5) 区民ギャラリーの運営

設営時の高所作業台の使用方法等について利用者への周知徹底を図り、安全性を確保していくとともに、区民等の創作の発表・交流の場としてより一層適正な運営に努めます。

これまで90%を超える高い利用率を維持してきましたが、PR等を工夫しながら特に新規利用者の増加を図るなど、さらなる利用率の向上を目指します。

2 運営方針

- (1) 美術館事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で実施します。
また、他団体の助成金、企業からの協賛金の獲得など、収入の増に積極的に取り組みながら事業ごとの収支バランスに留意します。
さらに、美術館事業に支障の無い範囲で、引き続きラウンジの一般利用を実施し、収益の増に努めます。
- (2) 展覧会の関連催事やワークショップ、講演会、各種講座などの実施にあたっては、参加費等を基本原資とします。
- (3) ギャラリーツアー等の実施にあたっては、教育委員会・学校等との連携を図り、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図ります。
- (4) 「めぐろオータムアート」事業等の実施にあたっては、目黒区等の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。
- (5) 指定管理事業については、基本協定書に則り、着実に事業を履行します。
- (6) 次年度の開館 30 周年に向けて、記念事業を含め対応を検討していきます。
- (7) その他、事務経費全般について、出来る限りの節減に努めます。また、別途、年間事業スケジュール表等を作成し、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルに取り組みながら運営します。

平成28年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規 (単位円)
※参加費等には、助成金及び広告料収入を含む。

1 鑑賞事業

(12事業・37公演)

主催共催の別	区分	事業・公演						収入内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
主催	落語	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,100,800	0	0	128,961	3,229,761	3,229,761	0
	クラシック	2	3月	大ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。	1	2,585,000	2,700,000	0	1,674,950	6,959,950	6,959,950	0
		3	7月	小ホール	★ 東京六人組による室内楽公演	ピアニスト三浦友理枝を中心とした実力派演奏家たちによる室内楽公演	1	396,000	0	0	792,383	1,188,383	1,188,383	0
		4	未定	未定	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演	1	50,000	0	0	401,640	451,640	451,640	0
	ポピュラー	5	3月	小ホール	★ JAZZコンサート	大人向けジャズコンサート。	1	393,000	0	0	415,870	808,870	808,870	0
	次年度	0	0	0	○ 次年度準備経費	次年度公演の準備経費。	0	0	0	0	60,000	60,000	60,000	0
共催	バレエ	1	8月	大・小ホール	○ 東京バレエ団「バレエ祭り」	区内にある東京バレエ団による公演と小ホール等でのワークショップ。	20	71,760	10,000	0	0	81,760	81,760	0
	ダンス	2	12月	大・小ホール	★ Meguro Dance Festival	ネクストジャパン(株)主催によるダンスフェスティバル。	2	44,574	0	0	0	44,574	44,574	0
	ポピュラー	3	7月	大・小ホール	★ パーシモン・ジャズ・フェスティバル	(株)ブランクton主催のジャズフェスティバル	2	49,680	0	0	0	49,680	49,680	0
		4	10月	大・小ホール	★ スアールアゲン	(株)ブランクton主催のバリ島音楽公演。	2	66,240	0	0	0	66,240	66,240	0
		5	1月	大ホール	☆ デキシールランド・ジャズ・ジャンボリー	(一社)日本ポピュラー音楽協会主催によるビッグバンドジャズコンサート。	1	15,732	0	0	0	15,732	15,732	0
		6	12月	大ホール	○ ゴスペルコンサート	海外招聘のゴスペルグループによる公演と参加型イベント。	2	72,312	0	0	0	72,312	72,312	0
	伝統芸能	7	春、夏、秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演	3	204,516	0	0	0	204,516	204,516	0
合計	12					37	7,049,614	2,710,000	0	3,473,804	13,233,418	13,233,418	0	

2 地域の芸術文化・支援事業

(20事業・24公演)

(単位円)

主催共催の別	区分	事業・公演						収入内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
主催	地域支援	1	10月	大ホール	○ 避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。	1	0	0	551,000	0	551,000	551,000	0
		2	冬頃	小ホール等	☆ 東日本復興支援事業	目黒区と友好都市である、気仙沼市・角田市との復興支援事業	1	195,000	1,000,000	0	1,231,300	2,426,300	2,426,300	0
	新進支援	3	冬頃	小ホール	○ 未来の音	新進気鋭のアーティストによるリサイタル。	2	700,000	0	0	827,270	1,527,270	1,527,270	0

共催	団体支援	1	3月~4月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(予選・決選)	バレエ・舞踊・邦舞のコンクール(東京新聞)	1	0	0	0	68,000	68,000	68,000	0	
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	バレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演(東京新聞)	1	1,000	0	0	0	1,000	1,000	1,000	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演	1	1,000	0	0	0	1,000	1,000	1,000	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会	目黒区東山オーケストラによる演奏会	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		5	6月、12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会	目黒区民交響楽団による定期演奏会	2	4,000	0	0	0	4,000	4,000	4,000	0
		6	6月	大ホール	○ ヤマハ目黒吹奏楽団演奏会	ヤマハ目黒吹奏楽団による演奏会	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		7	7月	大ホール	○ 宮田マンドリン楽団	宮田マンドリン楽団による演奏会	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		8	9月	小ホール	○ 伝統文化に親しむ(文楽)	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		9	7月	大ホール	○ 第14回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 東日本大震災鎮魂コンサート	(公財)北野生涯教育振興会主催による鎮魂コンサート	1	4,000	0	0	0	4,000	4,000	4,000	0
		11	12月	大ホール	○ ユネスコ平和コンサート	目黒ユネスコ協会主催による演奏会	1	7,500	0	0	0	7,500	7,500	7,500	0
		12	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート	1	4,000	0	0	0	4,000	4,000	4,000	0
		13	10月	小ホール	☆ 東邦音楽大学ウインドオーケストラ	東邦音楽大学学生による公演	2	8,280	0	0	235,360	243,640	243,640	243,640	0
		14	5月	中目黒GTプラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		15	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション	区内のクラシック音楽家で組織された団体(目黒区クラシック音楽家協会)によるコンサート	1	4,140	0	0	0	4,140	4,140	4,140	0
障害者支援	16	冬頃	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	多くの聴覚障害者の方、地域の方を対象としたコンサート。	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
子育て支援	17	未定	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	0	0	0	7,500	7,500	7,500	0	
合計	20					24	936,420	1,000,000	551,000	2,361,930	4,849,350	4,849,350	0		

3 学習・練習事業

(4事業・31公演)

(単位円)

主催共催の別	区分	事業・公演					収入内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金				自主財源
主催	ワーク ショップ	1	夏頃	小ホール	○ パーシモンパレットプログラム(演劇)	夏の中高校生向けワークショップ	1	0	775,000	0	0	775,000	775,000	0
		2	秋頃	小ホール	☆ 大人のためのワークショップ(演劇)	大人を対象にしたワークショップ(演劇)	1	67,500	15,000	0	911,400	993,900	993,900	0
	アウト リーチ	3	年間	小中学校等	○ 学校アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流を実施。助成金を活用予定。	25	0	0	3,300,000	0	3,300,000	3,300,000	0
		4	未定	その他	○ 学校以外のアウトリーチプログラム	様々な目黒区内の場所にアーティストが出向き、演奏等を実施。(病院、特別養護老人ホーム)	4	0	0	0	354,400	354,400	354,400	0
合計		4				31	67,500	790,000	3,300,000	1,265,800	5,423,300	5,423,300	0	

4 自主事業運営経費

(単位円)

区分	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)						収入予算額内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
	番号	時期	会場	名称	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
自主事業運営費	1	0	0	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料	0	0	0	870,000	0	870,000	870,000	0
	2	0	0	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料	0	0	0	480,000	0	480,000	480,000	0
	3	0	0	○ ボランティア育成	ホールの自主事業等のスタッフとして活動してもらうための研修参加費や交通費等の補助	0	0	0	0	90,000	90,000	90,000	0
	4	0	0	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営	0	0	896,800	0	0	896,800	35,000	861,800
	5	0	0	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布	0	0	420,000	3,360,927	0	3,780,927	4,642,727	-861,800
計							0	1,316,800	4,710,927	90,000	6,117,727	6,117,727	0

5 合計(1~4の総計)

(36事業・92公演)

(単位円)

区分	事業・公演						収入予算額内訳				収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)
	番号	時期	会場	名称	内容	公演数	チケット売上	参加費等	区補助金	自主財源			
主・共催合計	36					92	8,053,534	4,500,000	3,851,000	7,101,534	23,506,068	23,506,068	0
自主事業 運営経費	0					0	0	1,316,800	4,710,927	90,000	6,117,727	6,117,727	0
合計							8,053,534	5,816,800	8,561,927	7,191,534	29,623,795	29,623,795	0

II 区受託事業

(単位円)

区分	事業・公演						収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)				
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数				チケット売上	参加費等	区委託料	自主財源
共同 主催	1	春・秋	大・小ホール 等	○ 第51回目黒区文化祭	日舞、合唱、民謡、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、詩吟、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	13	0	0	1,863,336	0	1,863,336	1,863,336	0
	2	秋頃	旧前田邸等	★ めぐるオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	2	30,000	50,000	615,600	0	695,600	695,600	0
合計	2					15	30,000	50,000	2,478,936	0	2,558,936	2,558,936	0

III 指定管理事業

(単位円)

区分	事業・公演						収入 予算額(A)	支出 予算額(B)	差引 (A-B)				
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数				チケット売上	参加費等	利用料金	自主財源
指定管理事業	1	未定	大ホール	クラシックコンサート(仮称)	目黒区ゆかりのアーティストによる公演	1	1,990,800	0	0	700,000	2,690,800	2,690,800	0
合計	1					1	1,990,800	0	0	700,000	2,690,800	2,690,800	0

平成28年度 目黒区美術館事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位 円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	事業費見込	収入見込			
					展示事業等収入	区補助金	自主財源	
1	没後40年 高島野十郎展 -光と闇、魂の軌跡	4月9日(土) ～6月5日(日) 【50日間】	明治23年に福岡県久留米市に生まれた野十郎は、東京帝大農学部水産学科を首席で卒業後、独学で絵を学び、精緻で気迫のある写実を描きつづけました。果実や器物などを好んで描き、ほかに秩父や筑後などの風景も制作しています。さらに、徹底して描いた月やろうそくの連作は、特に人気があります。福岡県立美術館の調査によって紹介され、当館ではいち早く1988年にまとまった展覧会を開催して多くの入館者を集めました。本展は、それ以降発見された作品も加え、没後40年の野十郎の絵画を振り返るものです。福岡県立美術館、足利市立美術館、九州芸術館に巡回します。	12,470,000	7,170,000	5,300,000	0	
2	童画の国から展	7月16日(土) ～9月4日(日) 【44日間】	こどものために描かれた童画は、広く絵画とグラフィックデザインからとらえた鑑賞が可能です。本展では、多くの童画を制作している目黒区ゆかりの工業デザイナー秋岡芳夫と関係の深い、2人の作家、武井武雄と初山滋を取りあげます。大正から昭和にかけて、主に絵雑誌『コドモノクニ』で活躍し、日本の童画会の双璧となった2人の童画のほか、版画やデザイン、造本などにも注目し、豊かな感受性と表現を紹介します。本展は、イルフ童画館の協力を得て、開催します。	11,106,000	4,176,000	0	6,930,000	
3	色の博物誌展	10月22日(土) ～12月18日(日) 【50日間】	目黒区美術館では、オリジナルで企画制作した「画材と素材の引き出し博物館」を契機に、ほかの美術館があまり触れない画材や色材の文化史に着目し、1992年から2004年まで、色の博物誌と題した企画展を開催してきました。10年ぶりとなる本展は、これらの企画で出会った色材研究のまとめとして色と原料と人が織りなす色材文化にせまります。関係する作家や研究者の仕事を包括的に紹介し、美術においての、こうした視点の重要性をなげかけていきます。合わせて、そのもととなった画材の引き出し博物館も特集展示します。	25,727,700	6,487,700	0	19,240,000	
					49,303,700	17,833,700	5,300,000	26,170,000

【指定管理事業・展覧会】

(単位 円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	事業費見込	収入見込			
					展示事業収入	区指定管理料	自主財源	
1	目黒区美術館コレクション展 -来しかた行くさき +秋岡芳夫全集4	2月11日(土) ～3月19日(日) 【32日間】	本展は、平成29年に30周年となる節目を前に開催するコレクション展として、目黒区美術館が誕生から今までどの様に月日を重ねてきたか、作品や多彩な資料・記録とともに、当館のコレクションの特色を振り返ります。また、同時に近年収蔵された未公開の新収蔵品を展示し、これからの目黒区美術館の行く先とあり方の姿勢をアピールしていきます。4回目となる秋岡芳夫全集もテーマを絞り開催します。	2,458,800	1,108,800	1,350,000	0	
2	めぐろの子どもたち展	1月17日(火) ～2月1日(水) 【14日間】	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものにしたいたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。あわせてアメリカチェロキー郡及び北京市東城区の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,433,402	0	1,433,402	0	
					3,892,202	1,108,800	2,783,402	0

【自主事業・教育普及】

(単位 円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	事業費見込	収入見込		
								催物収入	区補助金	自主財源
1	ワークショップ (1)夏	ワークショップ・童画と絵本(仮称)	7月～9月	小学生、中学生、大人	3コース程度+遊びの広場	童画展に関連した内容。小学生・中学生向け、大人のコースとして童画を描いたり絵本を作るなどのテーマで行う。さらに、夏休みの土日を中心に、「遊びの広場」を復活させる。	430,000	80,000	350,000	0
2	ワークショップ (2)春	美術を見る・知る2(仮称)	平成29年2月～3月	小学生～大人	3コース程度	美術全般についての美術講座を予定する。美術の基本についての第二弾として、今回は素材をテーマにして行う。	410,000	60,000	350,000	0
3	目黒区総合庁舎ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説して回る毎年人気の庁舎建築ツアー。	※	※	50,000	0
4	トイコレクションプログラム	アウトリーチ	5月、12月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介する。トイの日は、美術館で行う。				0
		トイの日	7月	乳幼児～大人	2日					0
5	大人のための美術カフェ	各展覧会	各会期中	高校生以上	4回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。午後のラウンジで展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定して話す。				0
6	ギャラリーツアー	各展覧会	各会期中	小中学校		区内、近隣小中学校の鑑賞教室の受け入れ				0
7	デザインキャンプ		夏以降	高校生以上	1回	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ。今年度で5回目の開催となる。				0
8	美術講座	館長による講座	夏以降	高校生以上	3回	目黒区美術館館長による美術に関する連続講座				0
										840,000

※ 事業費については、主に参加料収入を充てる。

○このほか、各展覧会においての催物を予定する。

【受託事業・教育普及】

(単位 円)

NO	事業名	名称	時期(予定)	募集対象	回数	内容	事業費見込	収入見込		
								催物収入	区補助金	自主財源
1	めぐろオータムアート(目黒区文化・交流課と財団の共同企画)		(10月～11月)	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画5回目、音楽と美術のワークショップなどを開催します。	261,800	35,000	226,800	0

《共催事業》(区民ギャラリー ※日程については予定

- 1) 目黒区写真美術協会展 4月12日(火)～17日(日)
- 2) 目黒区書作家協会展 5月18日(水)～22日(日)
- 3) 目黒区美術家協会展 6月22日(水)～26日(日)
- 4) 目黒区美芸作家協会展 平成29年3月28日(火)～4月2日(日)

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》 ※日程については予定

- ・区展(区民作品展) 9月19日(月・祝)～10月2日(日)

《目黒区文化祭》(区民ギャラリー) ※日程については予定

- ・自主グループ展 4月19日(火)～24日(日)